



余った食べ物を預かって、必要なところに届けます

特定非営利活動法人

フードバンク関西 06-6496-4077

フードバンクって、何？

食べ物は、無かったら命にかかわる大切な物。でも世の中、食べ物が余って処分困っているところがあると思えば、その日の食事に事欠く人もいます。食べ物が無いのは、本当につらい。食べ物は命の糧、大切なのです。余ったからといってすぐに捨てないでほしい。足りなくて困っている人がいるかもしれない。「フードバンク」はこの大切な食べ物を余ったところから預かり、足りなくて困っている所に届けるボランティア活動です。フードバンク関西は、この阪神地域で2003年春から活動を始めました。



なんともったいない 毎日、大量の食品が、賞味期限が迫る、パッケージが壊れた等で商品棚から下ろされ捨てられています。それらは食べ物として美味しく栄養充分で安全なのに、産業廃棄物処理場で焼却され、大量の二酸化炭素を発生し、地球温暖化の一因となっています。

その一方で 児童養護施設、母子緊急生活支援施設、身障者の生活を支える団体等は、福祉予算の削減で苦しい経営をしています。ホームレスの緊急生活援助をする団体も資金不足で大変です。

だから フードバンク関西は、この二つを結び付け、自社の商品を最後まで大切に扱いたいという食品関連企業数社から余剰食品の無償提供を受け、生活弱者を支援する施設や団体十数か所に無償で届けています。私達は、命の糧である食べ物を大切に、より多くの人が豊かな食生活を楽しむ事ができると共に、資源の有効活用をはかって環境を守り、みんなで助け合う社会を作る事に役立ちたいと活動を始めました。

フードバンク関西はこんな仕事をしています。



私達は余った食べ物を預かり、必要とするところへ届けます。

日曜日を除く毎日、自社で扱った商品を最後まで大切にする食品関連企業数社から、食べ物としての価値はあるのに商品として扱えなくなった食品を無償で引き取り、尼崎、西宮、神戸の福祉施設や身障者作業所、大阪西成のホームレスを支援するNPO等十数か所に無償で届けています。ボランティアが、交代で自分の車を運転して食品の回収と配達をします。食品の取扱量は一日平均100キロ前後、1ヶ月では2トン近くになります。